

Natural Wings Records Presents

風景音楽作品集

8

8th album

Journey

©2011 Natural Wings Records

©Kome

Solo Cello samples used in this recording are from Garritan Gofriller Solo Cello®.

Solo Violin samples used in this recording are from Garritan Staradivari Solo Violin®.



ご購入ありがとうございます

風景音楽美術館 Natural Wingsの天沼と申します。

この度は、風景音楽作品【Journey】をご購入頂き、ありがとうございます。全11曲、お楽しみ頂ければ幸いです。

本作品は風景音楽アルバムとして制作した8つ目の作品です。

今回はティンホイッスルやリコーダー、ハーモニカなど吹奏楽器を利用したポップミュージックですが、風景音楽作品として様々なスタイルでの楽曲制作を行っています。「風景音楽美術館 Natural Wings」にて楽曲のご紹介等行っておりますので、是非ご覧になってみてください。サイトでは、ご紹介している楽曲の大半を御試聴頂ける他、毎週日曜日に無料配信しているピアノ演奏もお楽しみ頂けます。

■風景音楽美術館 Natural Wings

<http://natural-wings.net>

アルバムについて

ティンホイッスルやリコーダー、ハーモニカといった吹奏楽器を中心に制作したポップミュージックをお届けします。

アルバムタイトルは「旅」を意味する言葉ですが、比較的長い期間の旅を表し、転じて「人生」と置き換えられることもしばしばあります。周りはもちろん、気づかない内に自分自身も変化していきます。それが良かったのか、或はそうでなかったのか、長い旅の果てに思う事もあるでしょう。それでも、最後には笑っていただけるように今を全力で生きるしかありません。

今回の作品は、前向きなエネルギーをストレートにリズムカルなポップミュージックとして表現しました。一部、カンテレという琴を演奏していますが、基本的には笛など吹奏楽器を演奏して、楽曲に文字通り息を吹き込んでいます。

今がとても辛い人にとっては絵空事かもしれませんが、今を頑張れば明日は良くなるなど無責任な言葉もどうかと思います。それでも、本作品が明日を目指す力の一助になれば幸せです。

2011年12月 天沼孝行

楽曲解説

01. Where you and I live

彼は扉を開けて振り向いた。「見なよ。外はこんなに良い天気じゃないか。傘なんて必要ないよ」視線を戻して、しばらく黙っていたが、やがて言った。「恐れる事なんてなにもない。明るい方向へただ飛び出せばいいだけだよ。他人の無責任な言葉に一体どれほどの価値があるというのさ」彼は息を一つ吐き、小さく首を振った。開けられたままの扉から微かに風が入ってきた。

02. Day of the first flight

その日は朝から晴れ渡り、風も穏やかだった。自転車で街区を走り抜けて丘へと急ぐ。途中、丘の上に人影を見つけ微笑んだ。「君もきっと喜ぶと思うよ」彼は前を見たまま続ける。「今日の空が青くて良かった」少しだけ後ろを気にして、彼は自転車の速度を上げた。

03. Summer run

僕は彼女の手を引き、走っていた。やがて息が切れ、僕らは背中を合わせて腰を下ろした。「疲れた？」僕は自分の息が整うと彼女に言った。彼女は何度か頷いて、息を整えた後「でも、悪くないね」と振り向いて笑顔を見せた。大きな雲が僕たちに影を落とした後、立ち上がった。再び手をつないだけれど、どちらから手を差し出したかは覚えていない。

04. Silky winds

「何を探しているのだろう」囁くような小声に顔を向けると、彼は僅かにあごをしゃくった。鳥が見えた。「触れられないものを信じて、飛び込むしかない時もあるだろうな。それでも、宗教や哲学より信じられるのだろうけどね」こちらを向かずに言葉が続けた後、視線が上を向いた。「見つかったみたいだね」鳥は羽ばたいていた。

05. Dance in the sky

鐘の音が聴こえなくなるのを待って彼は続けた。「...でも、彼らは気づいていないのさ。目に映っているものだってみんな幻想だってことにね。ただ”そう”思いたいだけの話だよ」僕が目で問うと、彼は察したのか振り向きもせず言った。「もちろんただの戯れ言さ」

06. Over the heaven

川面に水が跳ねた。彼の投げた石は対岸まで届かなかったようだ。もう一度。水が跳ねる。空を仰ぐとどこか遠くを見るように目を細めた。目の前の川も空も穏やかに流れて行く。彼は手近の石を手にとると、一歩下がり、対岸に向かって大きく踏み込んだ。

07.In the past

「ここで待っているから」もう何年も前にかけられた言葉だ。約束ではなかったから”忘れる”ではなく、最初から覚えていなかった。この言葉をかけた人の名前も顔も声も、もう思い出せない。ただ、時々言葉だけが飛び込んでくる。

08.Sage's eyes

気づいているか？鏡の中には何も映っていない。それはただの幻影。風の運ぶ声を聞け。想いはいつか形になり、君の世界を包むだろう。さあ、目を開け。

09.Believe it

日が傾きかけた頃に彼女はやってきた。大きな木の幹に優しく手を触れて言った。「独りっきりでいるには、長過ぎるわね。人生というのは」そして木に寄りかかった後、振り返って続けた。「あなたはどうか？」

10.Tomorrows far

「君に言われるまでもない」そう言って彼はすっかり冷めてしまったコーヒーを飲み干した。「でもね、分かっているけど抗えないことというのは、あるものなのさ。君が気づいていないだけでね」目を閉じて、何かを考えるような素振りの後、コーヒーのおかわりを注文した。

11.Horizon blaze

何を語っても、結局のところ、ただ知らないというだけのことなんだ。世界を満たしているあらゆるものは決して一様ではないのだから。君の瞳が光を失う前に、私は私の知っている名前を呼ぶことにする。ここが「君と私の生きる世界」だよ。

収録楽曲

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. Where you and I live | 3'27" |
| 2. Day of the first flight | 4'51" |
| 3. Summer run | 3'26" |
| 4. Silky winds | 3'59" |
| 5. Dance in the sky | 3'47" |
| 6. Over the heaven | 3'12" |
| 7. In the past | 3'28" |
| 8. Sage's eyes | 3'37" |
| 9. Believe it | 2'48" |
| 10. Tomorrows far | 3'15" |
| 11. Horizon blaze | 3'39" |

Total time 45'33"

スタッフ

AMANUMA Takayuki :

Piano , Tin whistle , Recorder , Harmonica , Melodion , Kantele
Music compositions ,
Programming

Kome :

Illustration

(<http://donoteat.jp>)